第15回YBIT研究会

2020/2/12



本日のテーマ

地方自治体のナッジ・ネットワーク & YBiT研究会

をみんなでデザイン!



背景:ナッジアンバサダーに任命



小泉環境大臣から任命(令和元年12月26日)



加えて、地方公共団体のナッジ推進を検討する分科会の主担当に

<役割>

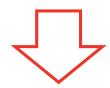
- (1)方法論や課題、対応の共有
- (2) 実証実験及び政策介入の留意点の整理
- (3) 成果の他地域への波及に関する考え方の整理

他自治体との 連携を強化!



地方政府のナッジ活用 ~国内外の例~

- ・人材や予算等のリソースに制約
- ・忙しくて余裕がない
- 新しいことにチャレンジするのが苦手



ナッジに目覚めた職員が組織を超えてつながり、 連携して、ナッジ普及をリードしてきた



望ましいネットワーク、研究会とは何か?



本日の流れ

- 1. アイスブレーク
- 2. 事例紹介
 - ・初級、中級を一例ずつ
- 3. ディスカッション
 - ・自治体ナッジ・ネットワークのあり方
 - ·YBIT研究会のあり方
- 4. YBiTアップデート、参加者PR
- 5. 参加者フィードバック (アンケート)



アイスブレーク

- ・5人でグループを組み、1人1分で自己紹介
 - ·氏名、所属
 - ·参加動機
- ・その後、全体で紹介(属性ごと)
 - ・地方自治体、省庁、アカデミア、学生、その他(メディア、専門機関、民間等)



本日の流れ

- 1. アイスラリーク
- 2. 事例紹介・初級、中級を一例ずつ
- 3. ディスカッション
 - ・自治体ナッジ・ネットワークのあり方
 - YBIT研究会のあり方
- 4. YBITアップデート 参加者PR
- 5. 参加者フィードバック(アンケート)



事例紹介

目的:

初級者、中級者それぞれが楽しみながら学び、実践につなげる

- ①初級者事例
 - ・ナッジやってみました!
- ②中級者事例
 - 効果検証までしっかり!



事例紹介ポイント

取組概要

- ・アウトカム
- ・ボトルネックとなる行動の特定、分析
- ·介入内容
- ·成果

苦労と対応 その他、参加者に共有したいこと



事例共有の円滑化

- ·共通様式
 - ・ダイジェスト版 (スライド 1 枚)
 - ·概要版(A4数枚)
- ・地方自治体の共有財産化
 - ·YBiTウェブサイト(BESTと連携)
 - ·「行動経済学会」等 誰もがアクセスできる環境を!



本日の流れ

- 1. アイスラットーク
- 2. 事例紹介
 - ・初級、中級を一例ずつ
- 3. ディスカッション
 - ・自治体ナッジ・ネットワークのあり方
 - ·YBIT研究会のあり方
- 4. YBITアップテート、参加者PR
- 5. 参加省フィードバック (アンケート)



YBiT研究会のポイント

地方自治体を超えたネットワーク

なぜ重要なのか?



個人、チームの取組から始まる!





自治体内で仲間が見つかり、つながる!



うちにそんな好事例があったとは!

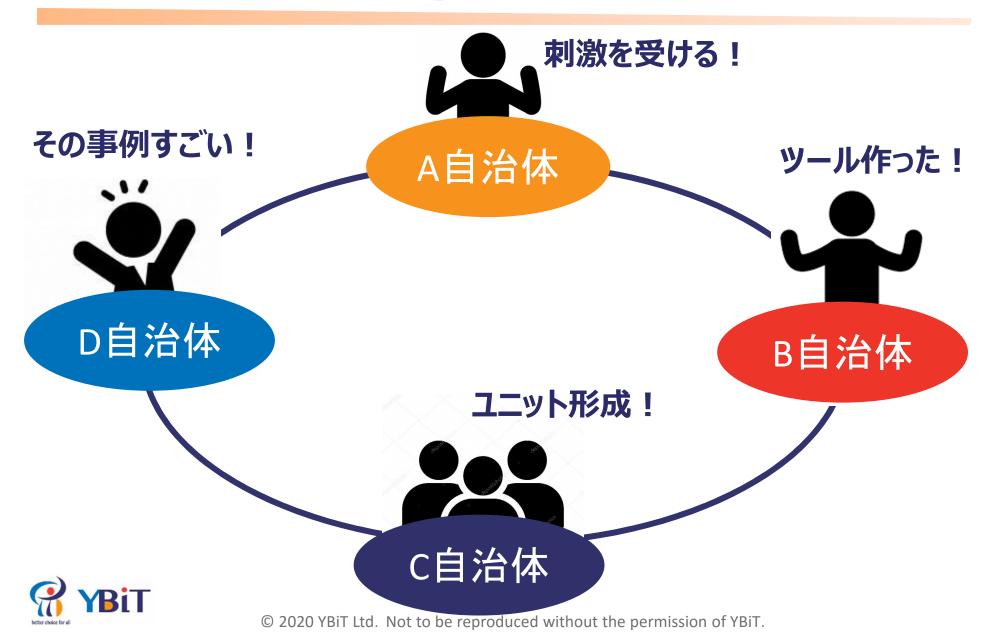


一緒に研究会を立ち上げよう!





自治体を超えたネットワークを形成!

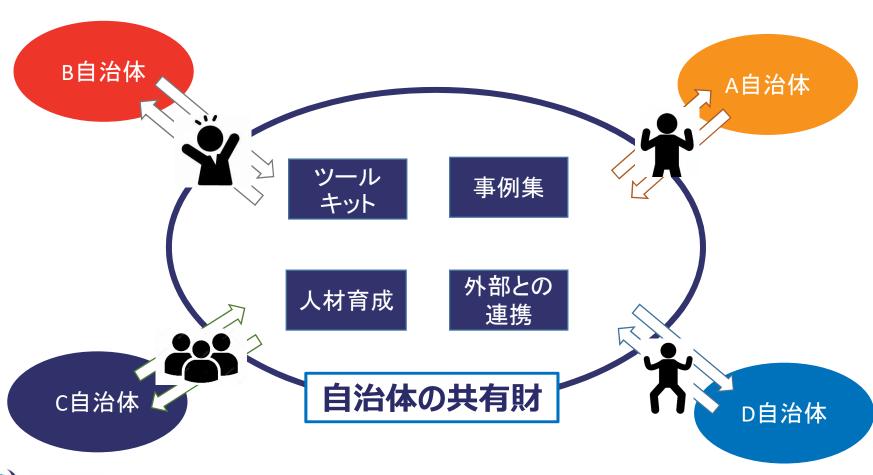


省庁、大学等の外部支援者と連携!



自治体ナッジ推進者の役割

ネットワークで培った知見を伝達





YBiTの提言@BEST若手有識者会議

地方自治体のネットワークを構築し、

- 1. 知識共有
 - ・自治体に適したツールキット作成
- 2. 事例共有
 - ・共通の基準や様式、誰でもアクセス
- 3. 人材育成
 - ・レベル別の体系的なコンテンツ
- 4. 外部との連携
 - ・国内外の専門家と連携、マッチング
- 5. 倫理的配慮



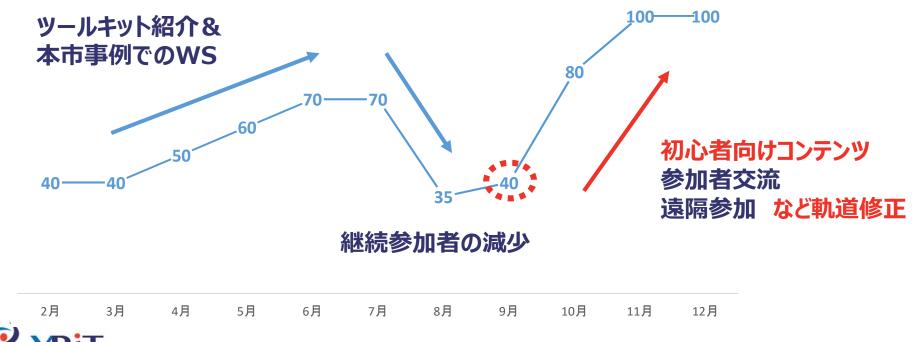
YBiT研究会の軌跡①

第5回	EAST、トロント大学「実務者のためのナッジ活用ガイド」
第6回	YBiT 体制論 、RCT実践、 ワークショップ 「空家対策通知」
第7回	BASIC、ワークショップ「特定健診受診率向上」
第8回	David Halpern(英国BIT代表)インタビュー報告 ミニパネル「国際シンポ報告」(荒木田副市長、福吉社長、池本補佐)
第9回	TESTS、ナッジ活用15の戦略、ワークショップ「風水害時の緊急避難」
第10回	マーケティングを行政に活かす~未受診者対策~(福吉社長)
第11回	BASIC、ナッジ×EBPM(因果推論)、ワークショップ「ナッジの普及戦略」
第12回	初心者向け講演「1時間でわかるナッジのひみつ」(竹林先生)
第13回	ナッジのデザイン(糸井川先生)、 行動経済学会報告「地方自治体におけるナッジ普及戦略や体制」
第14回	医療現場へのナッジ応用 ミニパネル「自治体ナッジ元年」(星崎区長、福吉社長、野崎主事、高橋君)

YBiT研究会の軌跡②

- ・リピーターに加え、初参加者も楽しめるコンテンツ強化
- ・参加型コンテンツやネットワーク機能を今後拡充!

【参加者数/月の変動イメージ】





こうした蓄積の上に

今、皆さんがナッジを進めようとして直面している 課題等を踏まえて、

- ・地方自治体のナッジ・ネットワーク
- ·YBiT研究会

望ましい形を一緒に考えてみましょう!



ディスカッションタイム

- ・5名程度で1グループ、司会、書記を決める
- ・グループ・ディスカッション (20分程度)

「地方自治体ナッジネットワークに期待すること」「YBiT研究会に期待すること(コンテンツ、参画、よりよい「場」にするアイデア等)」

・全体シェアリング・タイム (20分)



本日の流れ

- 1. アイスラットーク
- 2. 事例紹介
 - ・初級、中級を一例ずつ
- 3. ディスカッション
 - ・自治体ナッジ・ネットワークのあり方
 - ·YBIT研究会のあり方
- 4. YBiTアップデート、参加者PR
- 5. 参加者フィードバック (アンケート)



参加者の1分間PRタイム

- ・ナッジユニット設立、飛躍等のマイルストーン報告
- ・イベント告知(他の参加者に資するもの)
- ・事例紹介に向けたコミットメント等



本日の流れ

- 1. アイスラットーク
- 2. 事例紹介
 - ・初級、中級を一例ずつ
- 3. ディスカッション
 - ・自治体ナッジ・ネットワークのあり方
 - · YBIT研究会のあり方
- 4. YBITアップデート参加者PR
- 5. 参加者フィードバック (アンケート)



アンケート

・より良い研究会にするため毎回アンケートを取ります

- ・研究会改善のためのフィードバック
- ・研究会の人材育成、ナッジ普及効果等の測定

